

■プロロジス・パーク市川 I の見学状況

新入生 20 名、教員 2 名、サポート学生 (SA) 1 名の総勢 23 名で、プロロジス・パーク市川 I を訪問しました。新松戸キャンパスから約 1 時間ほどで到着しました。プロロジスの広報室の方を含め 3 名の方に対応いただき、最初にプロロジスの概要説明を受け(約 30 分)、その後、現場を見学させていただきました(約 1 時間)。プロロジスの概要説明では、広報室の説明員の指導の下に、全員が 4 グループに分かれ、グループワークの形式で、物流施設を関連企業に貸し出すことを事業としている会社の役割を、自ら考えながら学ぶことができました。その後、プロロジスが提供する施設や設備として、食堂やコンビニ、屋上の太陽光パネル、免震構造、24 時間体制で監視を行う防災センターを見学させていただきました。さらに、テナント企業として、この施設を利用している読売 IS (折込みチラシ関連)、コストコ (冷凍コンテナ関連) の現場を見学させていただきました。普段抱いているイメージとはだいぶ違うという印象を持った学生が多かったようです。現場見学を終えての質疑応答(約 30 分)では、学生から施設の運用やプロロジスの社員に関するものなど色々な質問が出されました。今回の見学にご対応いただいた関係各位に感謝いたします。

(流通情報学部 増田悦夫教授)

<新入生の感想など>

・あれだけの大きな倉庫を何軒も建てて貸出しをされていて更に場所を無駄にしないために屋上にソーラーパネルを設置しているなど、トラックを通りやすくするためのランプウェイなど、今の私ではまず浮かばない発想なので純粋に凄いと感じました。今後も、私が将来的に就職や起業等をした場合などの会社の見本等として素晴らしい知識経験として為になると思います。(ME 君)

・物流施設を作って貸すのが仕事という企業があることに驚いた。そして、お客さんを第一に考えて施設が作られているのがよく伝わってきた。特にマルチテナント型という方法は、とても効果があると個人的に感じる。また、建物に使われている免震ゴムの仕組みはすごいと思った。(NM 君)

